

算数科学習指導案

1 単元 ひきざん (本時 1 / 1 1)

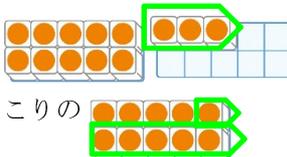
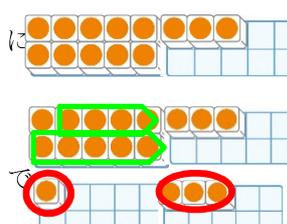
2 本時の目標

- ・(十何) - (1位数)で繰り下がりのあるひき算について、数図ブロックを操作し、計算方法を見いだすことができる。(知識・理解)

3 「見方・考え方を働かせる」ための手だて

- ・減加法による計算の仕方のよさを実感できるように、減加法による数図ブロックの操作を一斉に行う場を設ける。

4 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (6)	<p>1 既習の計算方法を復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たしざんは、はじめに10のまとまりをつくったよね。 ・13を10と3にわけて、3から3ひいたよ。 <p>2 問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> かきが 13こ なって います。 9ことると、なんこ のこりますか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりを意識できるように、パワーポイントを使って、既習の計算方法を確認する場を設ける。 ・既習の計算方法では、本時の計算ができないことに気づけるために、既習のひき算の計算方法を確認する。 ・場面把握を促すため、教科書の絵を提示する。 ・文章題からひき算である理由を問う。
課題 (2)	<p>3 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> けいさんの しかたを かんがえよう </div>	
展開 (30)	<p>4 数図ブロックを使って計算方法を考える。(個人→全体)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>①数えひき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13から1こずつとっていくよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>②減減法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に13から3とって、次に10からのこりの6をひくよ。  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>②減加法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13を10と3にわけて、10から9をひいて1、のこりの1と3で4になります。  </div> <p>5 適用問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数図ブロックを使って計算の仕方を考える。 ・10のまとまりから引くと早いよね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度にまとめて9個を引きやすいように、数図ブロックを置く台紙を用意する。 ・全体追究の場合では、始めに、数えひきや減減法の考え方についてふれる。次に、減加法の考え方にしたがって数図ブロックを操作している児童を意図的に指名する。 ・減加法の考えが出ない場合は、導入で提示した挿絵の柿の成り方に注目するよう助言をする。 ・児童が発表する際には、数図ブロックの動かし方がよく見えるように、教師用 iPad のカメラ機能を使ってテレビに映す。 ・<u>減加法による数図ブロック操作のよさを実感させるために、数えひき、減減法、減加法それぞれの数図ブロックの操作を一斉に行い、追体験できる場を設ける。</u> ・より減加法のよさを実感できるように、「素早く9個とる方法はどうだろうか?」と問う。 ・減加法に慣れるために、減加法に従って数図ブロックを動かすよう助言する。 ・10のまとまりから数図ブロックを動かしている児童を称賛する。
整理 (7)	<p>6 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりから ひけば よいことが わかりました。 ・たしざんとおなじように、10のまとまりをつかうと はやくけいさんできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算もひき算も10のまとまりを使うことを確認するために、導入で使用したパワーポイントを見せる。 ・本時は、10のまとまりを使った減加法による計算の仕方であったことを、板書を振り返って確認する。

5 評価

- ・繰り下がりのあるひき算の計算の仕方を、数図ブロックを使って考え、10のまとまりを意識した減加法のよさを感じて計算ができたか。(活動4・5・6の作業や発言より)